消費生活 安心ガイド

～かしこい消費者になろう～

第40回

☆実態不明の「グリーン電力証書」の販売トラブル

太陽光発電事業の加盟店入会の勧誘に注意！

太陽光発電の事業の加盟店募集の案内や入会申込書が届き「代わりに申し込んでくれれば謝礼を支払うと電話で勧誘され入会金を建て替えて支払ったところグリーン電力証書と言う書面が届いたが、立て替えた代金も謝礼も支払われない」といった相談が急増しています。

手口としては「グリーン電力証書を高価で買い取る」「代わりに購入してくれたら謝礼を支払う」と色々な事業者から勧誘され、消費者が立て替えて契約しても買い取られることはなく、その後、連絡が取れなくなるというケースが目立っています。

また、消費者が事業者に加盟店入会金を支払って、加盟店契約をしたはずが、なぜか「グリーン電力証書」が届き、購入したことになっていたという内容の相談も寄せられています。

これは、「水資源の権利」や「有料老人ホームの利用券」「鉱物の採掘権」などと同様の実態の疑わしい内容の契約をさせ、代金を振り込ませては連絡不能になると言った詐欺的な手法と酷似しています。

実態の分からない契約をさせようとする怪しい業者には、耳を貸さないようにしましょう。

このような電話があった場合は、早めに、消費生活センターにご相談ください。

「消費者力アップ講座」受講のご案内

養父市消費生活センターでは「消費者力アップ講座」を開催しています。

これは、市民の皆さんに市政に関する身近な疑問や関心のある施策などをくわしく知り、関心を深めていただくために実施している出前講座のひとつです。

出前講座を通して、身近な消費者トラブルや契約取引について学んで頂き、消費者力のアップを図ることが目的です。

「消費者力アップ講座」の受講は、土曜日、日曜日、また夜間の受講が可能です。まずは市役所消費生活センターへお問い合わせ、ご相談の上、教育委員会生涯学習センターへ受講申し込みをお願いいたします。

▼生涯学習センター（八鹿公民館内）（☎662－6141、FAX662－3201、✉syougai-c@city.yabu.hyogo.jp）

▼市役所市民課（☎662－3163）

お問い合わせ先

養父市消費生活センター（☎662－3170）

まちの文化財 ⑧⑨

～山陰義塾の石碑～

八鹿小学校の敷地にある石碑

宿南にある青谿書院（せいけいしょいん）は、全国から武士の子弟が学びにくるような、有名な私立の学問所でした。池田草庵先生が学問を教えた門人は、673人になります。但馬内の人は390人、但馬外の人は283人です。

明治11年、草庵先生が亡くなって青谿書院は閉校しました。そして明治維新によって、豊岡藩や出石藩にあった藩校もなくなりました。このため但馬では小学校教育しか受られなくなりました。

そこで草庵先生の門人たちは、山陰義塾（さんいんぎじゅく）という学校を作るために活躍しました。朝倉の佐伯理之助（りのすけ）、米里の米田喜太夫（きだゆう）、八鹿の小島禎助（ていすけ）などの人たちです。

そして明治21年1月、山陰義塾が、屋岡小学校（現在の八鹿小学校）の校舎を借りて開校しました。初代塾長には、建屋出身の北村寛愨（ひろよし）が就任しました。この人も青谿書院で学んだ門人でした。

山陰義塾の入学条件は、小学校4年間を卒業していることです。そして初等科4年、高等科3年、合計7年間の過程を教えました。現在の中学校から高校の教育内容になります。

分野は英語・数学・科学など12科目があり、1週間で35時間を教える本格的な学校でした。しかし私立学校であったことから学費だけでは資金が続かず、明治28年に閉校しました。

この状況の中で県立学校の誘致運動を行い、明治30年には兵庫県立蚕業学校（八鹿高等学校・但馬農業高等学校の前身となる学校）が作られ、教育の伝統は続きました。

この山陰義塾を顕彰する石碑が大正3年に建てられました。文章は学習院大学教授の土屋弘が作りました。この人も草庵先生の門人です。また文字は池田粂次郎（くめじろう）が書きました。この石碑は現在も八鹿小学校の敷地にあって、草庵先生の精神や学校の歴史を伝えています。

（教育委員会社会教育課）

市広報やぶ 2012. 3.15 3月号
■養父市政策監理部広報課発行 兵庫県養父市八鹿町高柳2702－3 ☎(079)663-2600 FAX(079)663-2385
URL http://www.city.yabu.hyogo.jp ■印刷／全但印刷工芸㈱

養父市